

学校園だより

平成30年1月18日(木)



か み よ し

1月号

豊岡市立神美小学校・幼稚園

児童数131名 園児数25名 計156名

平成30年がスタート 新たな舞台や学年につながる3学期へ 3学期の始業式での校園長式辞

みなさん、新年明けまして、おめでとうございます。お正月は家族そろって楽しく過ごしたことと思います。平成30年がスタートし、今日から3学期が始まりました。

お正月にみなさんは、今年はこんな年にしたいなと新年の抱負を立てたことと思います。校長先生の新年の抱負は、「みんなが元気いっぱい笑顔いっぱい過ごせる神美小学校・幼稚園とすること」です。先生方やみなさんと力を合わせて、元気と笑顔にあふれた神美小学校・幼稚園になるようがんばります。いっしょにがんばりましょう。

また、この3学期は1年間を締めくくる大切な学期です。4月からの新たな学校や学年へと繋げる充実した学期にしてほしいと思います。

特に、6年生は間もなく小学校を卒業します。6年間の小学校生活を締めくくり、自信を持って中学校という新たな舞台へと繋げる学期となるよう、あらゆることに全力で取り組んでください。幼稚園のそらぐみのみなさんも、春からは小学生です。小学校のお兄さんやお姉さんのように、立派な小学生になれるようがんばってください。

1年生から5年生のみなさんと幼稚園のほしぐみのみなさんは、それぞれに立場は違いますが、新たな学年や学級で十分に力を発揮できるよう、学年のしめくくりをしてください。

3学期をしっかりと締めくくるために、次の二つのことをお願いします。

一つ目は、「よく学ぶ」ということです。みなさんは学校や園に勉強をするために来ています。勉強も少しずつ難しくなってくると思いますが、先生の話をよく聞き、途中で投げ出さずに辛抱し、友だちともよく協力して、お互いに高めあってほしいと思います。学校では、みんなと一緒に勉強しています。みんなと一緒に勉強するから楽しく、互いに高まるのです。そのためには、きまりがあります。きまりをしっかりと守って、楽しく勉強しましょう。

二つ目は、「仲良く過ごす」ということです。校長先生はみなさんの笑顔がとても好きです。みなさんの笑顔からたくさん元気もらっています。しかし、残念ながら時々悲しい思いをしたり、けんかをしたりする姿を見かけます。そのときは、とても悲しくなります。自分勝手に考えるのではなく、相手の気持ちをよく考えて行動すれば、みんなが笑顔いっぱい仲良く過ごせます。友達の喜びが自分の喜びとなるよう行動しましょう。

最後に、一生懸命に勉強し、友達と仲良く過ごして、4月からの新たな学校や学年へとしっかりと繋がられる充実した3学期になることを願い、始業の言葉とします。

平成30年 新春「書き初め大会」を実施

文字や勉強の上達に願いをこめて！

書き初めとは、新しい年の始まりに文字を書き、文字がきれいに書けるようになることや仕事があまくいくことなどを願う行事のことです。今年は1月10日にすべての学年で書き初めを行いました。

1年生は「お正月」、2年生は「新しい年」の文字を硬筆で、3年生は「生きる力」、4年生は「元気な子」、5年生は「美しい空」、6年生は「希望の朝」という文字を毛筆で書きました。

きっとこの1年間に文字も上手になるし、勉強もよくわかるようになることでしょう。昔は、書き初めの後に数日おいて「ドンド焼き」という行事が行われ、その年に病気をしないようにと願い、正月の松飾りやしめ縄を持ち寄り積み上げて燃やし、その炎で書き初めなどの文字を書いた紙を燃やしたそうです。

書き初めは、各学年の教室や廊下に掲示していますので、ご来校の際にご覧ください。



平成30年 新春「かるた大会」 今年も長寿会の皆様方にお世話になりました

今年も長寿会の皆様にお世話になり、1月11日に恒例の新春カルタ大会を行いました。1年生は「いぬぼうカルタ」、2年生から6年生は「百人一首」を行い、どの学年も熱戦を展開しました。

この新春「かるた大会」を通して、長寿会の皆様と小学生との温かな交流ができたことを嬉しく思います。長寿会の皆様、誠にありがとうございました。今後とも、ご支援のほど宜しくお願いいたします。



「1. 17は忘れない追悼集会」での校園長講話（都合により、前日の1月16日に行う）

明日で阪神・淡路大震災から23年目を迎えます。私も23年前の早朝に自宅でこれまでに経験したことないドンと突き上げる衝撃で目がさめました。その後、家が壊れてしまうのではないかと思うほどのゆれが長く続き、大変怖かったことを覚えています。長いゆれがおさまってからテレビをつけると、神戸で大きな地震が起こったと放送されました。最初は早朝なので薄暗く、火災もそれほど起こっていませんでしたが、時間がたつにつれ神戸の街が次々と燃え広がる映像が映り、大変なことが起きたと知りました。

阪神・淡路大震災では、一瞬にして6,434人も多くの尊い命が奪われ、日常の世界が失われてしまいました。大切な家族を失った人にとって、23年という時間が流れたからといって、悲しみが癒えるわけではありません。きっと、悲しみを抱きながらも、それでも「強く生きなければならない」と多くの苦難を乗り越えてこられた23年であったと思います。

また、当時被災地には多くの人々がボランティアに入り、「ボランティア元年」という言葉が生まれました。特に、たくさんの若者がボランティアに入りました。この震災は、若者に「人の役に立つことの大切さ」や「何のために生きるのか」ということを強く考えさせてくれました。人が困っている時にこそ、自分にできることを行うことが、他の人にとっても自分にとっても幸せを感じられ、生きることを意味を感じられることにつながると思います。私も神戸の小学校にうどんの炊き出しのボランティアに行き、多くの方々に温かなうどんを食べていただいたことを思い出します。

阪神・淡路大震災の後にも、東日本大震災・熊本地震・鳥取地震など、日本の各地で大きな地震が起きています。東日本大震災では、今でも放射線汚染のために自分のふるさとに戻れない人も多くいます。また、地震以外にも集中豪雨による大水害や火山の噴火など、いつどんな災害が自分の身の回りで起こるのかわかりません。今一度、命の大切さ、防災の大切さ、災害発生時に取るべき行動等について、しっかりと考えてほしいと思います。

最後に、私たちは地震がたくさん起こる日本に住んでいるということ、自分の命は自分が守らなければならないこと、共に生活する家族や友だちの命も大切に考えて、日々生活してほしいと思います。



6年生「書写」の出前授業

6年生が毎年恒例の「書写」の出前授業を受けました。講師は神美郵便局長の井上大作さんです。1回目の1月16日（火）には、漢字の5つの書体について学びました。

その後、井上さんに模範の書き方を指導していただいた後に、「永」の文字を書きました。

2回目の1月23日（火）には、消しゴム

を使って篆刻を行い、各自の印を作ります。

最後に、色紙に間もなく中学に入学するに当たり、各自の「座右の銘」を書きあげ、押印して書の内容を創りあげる予定です。楽しみです。

井上さんには、大変ご多用にも関わりませず、ご指導をいただき、ありがとうございました。



今後の予定

- 1月18日（木）スキー教室打ち合わせ
- 23日（火）なかよし集会 発表（1・2年）
書写出前授業（6年）
- 26日（金）読み聞かせ 代表委員会
- 31日（水）スキー教室（予備日2月5日）
- 2月 1日（木）ストレスマネジメント授業（6年）
- 5日（月）委員会活動 スキー教室（予備日）
げんき週間（5日～9日）
- 6日（火）学校朝会 いじめアンケート
- 7日（水）入学説明会（小学校）
- 9日（金）授業参観日 幼稚園発表会
- 13日（火）月曜校時授業 なわとび集会
- 16日（金）入園説明会（幼稚園）
- 20日（火）児童会引継ぎ式
- 23日（金）読み聞かせ 代表委員会
- 27日（火）6年生を送る会

